

北朝鮮の地下核実験実施に関する環境放射能測定結果について（第1報）

平成29年9月3日

福島県放射線監視室

- 平成29年9月3日に、北朝鮮における地下核実験を受け、県では、現行のモニタリングポストにおける空間線量率やダストモニタの監視に加え、大気浮遊じん及び降下物の測定を開始するなど、監視体制を強化しております。

なお、本日（9月3日）16時30分現在、県内全ての測定結果に、有意な変動は確認されておりません。環境放射能測定結果については、明日以降も毎日17時頃までに県政記者クラブに情報提供するとともに、県ホームページにて公表してまいります。

- また、原子力規制庁の指示により、本日14時30分から、福島県環境創造センター福島支所で、大気浮遊じん及び降下物の採取を開始しました。大気浮遊じんについては明日9時、降下物については明日15時まで採取を行った後にゲルマニウム半導体検出器で分析のうえ、分析結果は、全国の分析結果とともに原子力規制庁から公表される予定です。

明日以降は、大気浮遊じんについては9時から24時間採取し、降下物については15時から24時間採取し、両分析結果は全国の分析結果とともに原子力規制庁から公表される予定です。

- 空間線量率の状況、大気浮遊じん及び降下物の分析結果については、下記県HP及び原子力規制庁HPにて随時公開しております。

・空間線量率

（福島県ホームページ）

<http://www.atom-moc.pref.fukushima.jp/public/map/MapMs.html>

（原子力規制庁ホームページ）

<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

・大気浮遊じん及び降下物の放射性核種

（原子力規制庁ホームページ）

<http://www.nsr.go.jp/activity/monitoring/monitoring5.html>